

2-2 野菜

(2) 現状分析 (①規模拡大、②新規就農等)

- 露地野菜の規模拡大は進展。
- 野菜は年に複数回生産できること、面積当たりの付加価値が大きいことなどから、新規就農・参入意欲が高い。
- 一方、面積当たりの単価を抑える必要がある加工・業務用野菜については、生産が伸び悩み。

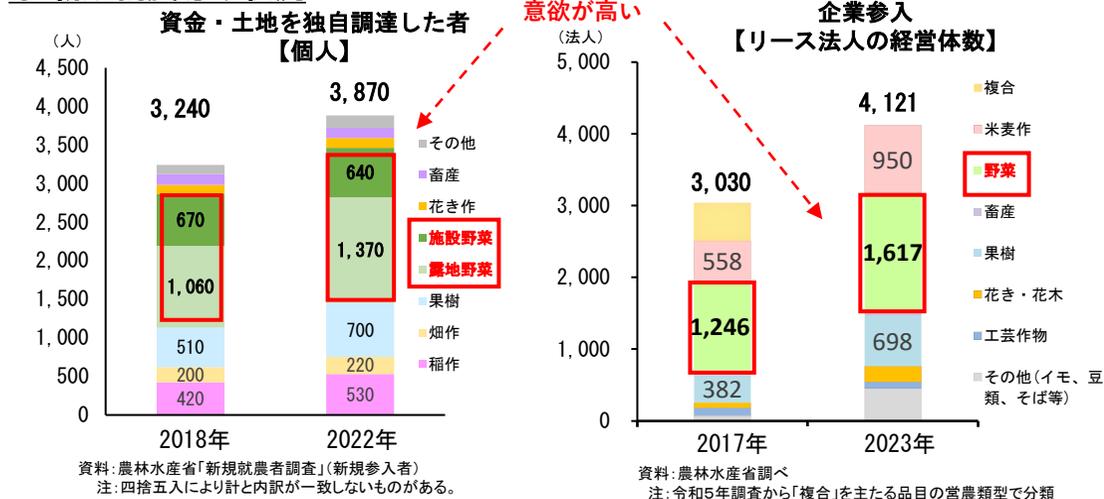
○ 1 経営体あたりの経営規模の推移 (2010年からの10年間) (経営耕地面積)

露地野菜	2010年	2020年
法人等 団体経営体	15.4	15.6
主業経営体	3.3	4.0
準主業・ 副業的経営体	1.0	1.1
平均	2.0	2.5 (ha/経営体)

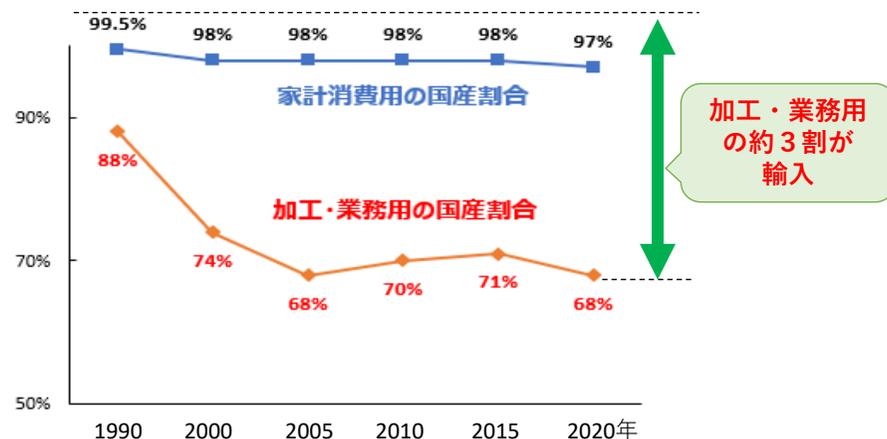
施設野菜	2010年	2020年
法人等 団体経営体	4.1	4.3
主業経営体	1.9	1.9
準主業・ 副業的経営体	1.1	1.1
平均	1.6	1.7 (ha/経営体)

資料：農林水産省「農業センサス」の調査票情報を利用して集計

○ 新規就農等の状況



○ 加工・業務用野菜と家計消費用野菜の国産割合の推移



資料：農林水産省「食料需給表」